

関係者各位

2013 年 12 月 2 日

ウォール・ストリート・ジャーナル日本版が選ぶ今年の 10 大ニュース発表 ～1 位「米政府一部閉鎖と債務不履行の危機」、2 位「アベノミクス」～

ウォール・ストリート・ジャーナル日本版

ウォール・ストリート・ジャーナル(WSJ)日本版(編集長:小野由美子)は、本日「WSJ 日本版が選ぶ 2013 年 10 大ニュース」を発表いたしました。編集部が日本版読者の反響、記事本数が多かったトピックス、米国・アジア版記者が精力的に取材したテーマの中から 1 位から 10 位までランキング形式で選定しました。

◇ WSJ 日本版が選ぶ 2013 年 10 大ニュース

- 1 位 米政府一部閉鎖と債務不履行の危機
- 2 位 国内外から注目を集める「アベノミクス」
- 3 位 金融緩和から出口探る米 FRB
- 4 位 米国 NSA 盗聴問題
- 5 位 シリア内戦
- 6 位 中国 薄熙来(はくきらい)失脚
- 7 位 相次ぐ IT 企業の大型再編
- 8 位 福島第 1 原発の汚染水問題
- 9 位 ボーイング機事故
- 10 位 世界各地の異常気象



WSJ 日本版は、サイト内に特設ページを設け、WSJ が伝えた激動の 1 年を振り返ります。

特集: WSJ 日本版が選んだ 2013 年注目ニュース(1)

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702304471504579227261228087826.html>

特集: WSJ 日本版が選んだ 2013 年注目ニュース(2)

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702304471504579227261887730236.html>

<総括>

2013 年は主要先進国で景気回復の機運が高まる一方で、政治・外交のリスクや新興国経済の変調が浮き彫りとなり、不安定感が際立つ 1 年でした。「アベノミクス」が金融市場ではやされ、日本経済に世界の注目が久々に集まっていた一方で、海外に目を転じれば、米国では激化する党派対立によって政府が債務不履行になる瀬戸際まで追い込まれ、中国では急成長によるゆがみが、各地の騒動や環境汚染などでこれまでになく表面化した年でした。また、モバイルの波に洗われた IT 業界が大きく変容しつつあった一年でもあります。加えて、シリア内戦で化学兵器が使用され多くの人が命を失ったことも忘れることはできない出来事です。

◇ 2014年注目経済トピックス

●消費税引き上げー日本経済の行方は

「アベノミクス」により、消費拡大の裾野は富裕層から中間層にまで拡大しています。しかし一方で、今後の消費税率引き上げで消費者負担が8兆円拡大し、増税が少なくとも一時的には消費を圧迫するとの見方が強まっています。増税の負担を乗り越えて日本経済を成長軌道に乗せられるかに、来年はさらに注目が集まってくるでしょう。

●エネルギー革命

金融危機以降の米国にとって、先進技術を導入したシェール(頁岩層)開発ブームは石油・ガス生産でロシアを抜き世界1位になる効果をもたらしました。他国では環境面での影響を懸念する動きや供給先への依存を減らす取り組みも見られます。米国の安価なガス輸出の潜在性や中東への依存の軽減など、今後も経済・政治面での影響は大きいと見られています。在来型資源に乏しい日本でも再生可能エネルギーを含めて建設的な進展が成長につながる余地もあるのではとの見方も強まっています。

●欧州危機は終わったか

ユーロ圏経済は4-6月期にプラス成長を回復するなど、債務危機から遠ざかったかのように見えます。ギリシャの離脱懸念は薄れ、金融市場は回復に向かっています。今年はキプロスで預金者が損失負担を強いられるという異例の事態が起きましたが、国際支援で落ち着きを取り戻しました。しかし一方で、依然失業率は9月時点で12.2%と過去最高水準にあり、スペインでは4人に1人が失業状態となっています。果たして欧州経済は危機を完全に払拭できるのか、来年が正念場となっています。

特集: WSJ 日本版が選んだ 2014 年の注目トレンド

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702304471504579229313475969336.html>

●有料会員向けWSJ日本版が選ぶ2013年10大ニューズトークセッションのご案内●

WSJ日本版の4周年記念を兼ね今年のニュースを振り返るランチ・トークセッションを下記のとおり行います。

詳細は、ウェブサイト (<http://jp.wsj.com/sp/campaign/winter13/>) をご覧ください。

「アベノミクスはまだ買いかー海外から見た日本の経済再生策」

日時: 2013年12月12日(木) 11:30 - 13:30

場所: アカデミーヒルズ (六本木森タワー 49F) スカイスタジオ

登壇者: WSJ 東京支局長 ジェイコブ・スレンジャー、WSJ日本版編集長 小野由美子

ウォール・ストリート・ジャーナル(WSJ)について

ウォール・ストリート・ジャーナル(WSJ)は世界で237万人以上の購読者を持つ有数の経済メディアで、購読収入でアメリカ最大の新聞です。それぞれの地域でアジア、ヨーロッパ版を発行する他、WSJ.com は、オンラインで金融ビジネス情報・分析記事を配信しており、世界で100 万人以上の購読者と、月3,600 万人のユニークビジターを獲得しています。そのほか、MarketWatch.com, Barrons.com, AllThingsD.com, SmartMoney.com などの専門サイトに加えて、日本語、中国語など9カ国語で展開しています。WSJ はこれまで35 回のピューリッツァー賞を受賞しているほか、2012 年は「影響力のあるBtoB メディア」の1位に12年連続で選ばれています。

WSJ日本版は、世界各地に存在する約1,900名の記者や編集者らによって集められた質の高い情報の中から、日本の読者向けに記事を日々厳選して、日本の編集チームにて翻訳(意訳)したニュースサイトです。2009年12月のローンチ以来、グローバルな経済動向や金融市場に関心の高い日本のビジネスリーダーに対して、ウォール・ストリート・ジャーナルの良質な記事コンテンツを日本語でインターネットを通じて幅広く提供しております。

<報道関係お問い合わせ先>
(株)ブラップジャパン担当: 蔵持・菊池

TEL: 03-4580-9105 Email: a-kuramochi@prap.co.jp/y-kikuchi@prap.co.jp